



株式会社 エフピコ

証券コード: 7947

第63期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日





代表取締役会長（兼）
エフピコグループ代表

佐藤 守正

代表取締役社長

安田 和之

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、業界唯一のエコトレー、エコAPET、エコOPETの拡販に加え、時代の要請に応える製品の開発などを一層推進しております。

エコトレーにつきましては、太陽光発電設備の増設により、本年7月出荷分からCO₂排出削減量が30%から37%に拡大いたしました。また、お店から始まる「ストアtoストア」の輪は、全国で広がっています。さらに、プラスチック使用量を大幅に削減した低発泡PSP容器の上市、ユーザー様の人手不足対策に向けた包装の機械化・自動化に対応する製品の開発・上市も進めております。

原料価格の高騰や電力料金の高止まり、円安の進行など厳しい経営環境が継続する中、製品価格の改定を実施しました。第2四半期の販売数量は堅調に伸びており、下期には業績の回復が一層進む見込みです。

今後とも新素材の研究開発、新たなマーケットの創出、リサイクル手法の研究を通じて、安全安心で豊かな食生活の創造と持続可能な社会の構築を目指して前進してまいります。

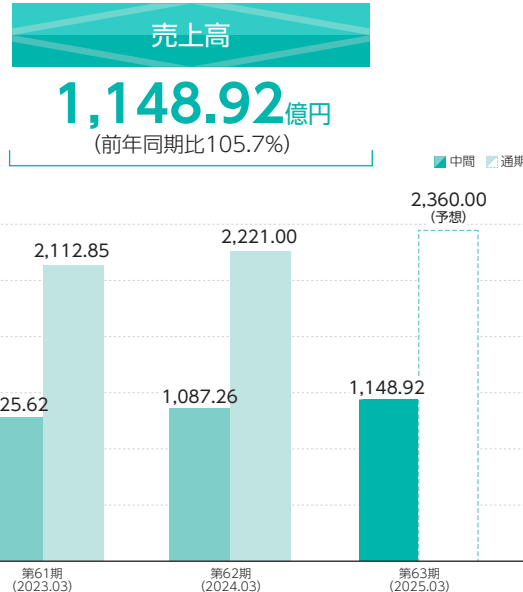
株主の皆様には、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

●売上高及び製品売上数量

- 第2四半期連結会計期間
製品売上高は価格改定効果の一部反映もあり、前年同期比105.1%となりました。また、製品売上数量は前年同期比103.0%と順調に推移しております。
- 中間連結会計期間
売上高はほぼ計画通りとなり、過去最高を更新いたしました。製品価格改定効果が一部反映したほか、商品売上高はアベックスのM&A効果もあり、順調に推移しております。また、製品売上数量は前年同期比で102.4%となり、うちエコ製品（エコトレー、エコAPET、エコOPET）については108.2%と引き続き堅調に推移しております。

●経常利益増減の主な要因

- 第2四半期連結会計期間
価格改定効果の一部反映もあり、前年同期比で増益に転じております。
- 中間連結会計期間
経常利益は計画通りの65億20百万円、前年同期比では7億15百万円の減益となりました。主な減少要因は、原料価格の上昇影響がマイナス10億円、物流費の増加がマイナス6億円、エフピコフェアの開催時期の変更による経費増加がマイナス3億10百万円となりました。一方、増加要因として、価格改定効果が一部反映したこともあり、プラス11億20百万円となりました。



1株当たり配当金

中間21.5円

営業利益

64.72億円
(前年同期比92.7%)

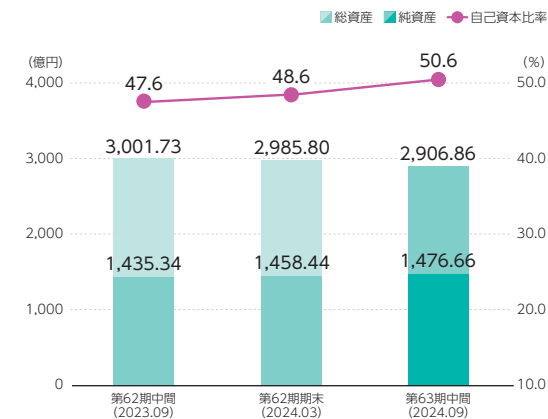
経常利益

65.20億円
(前年同期比90.1%)

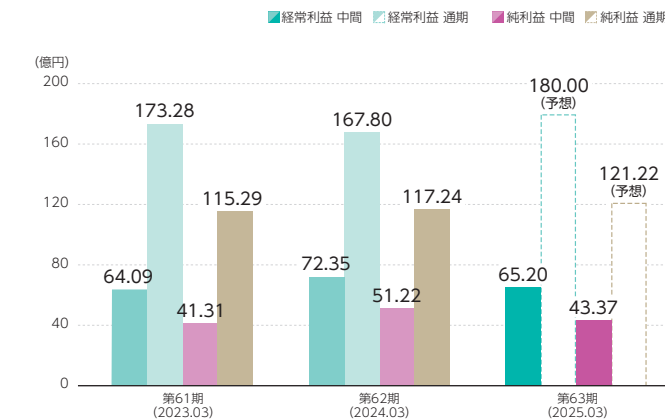
親会社株主に帰属 する中間純利益

43.37億円
(前年同期比84.7%)

総資産／純資産／自己資本比率



経常利益／純利益



環境への取り組み

広がっています！ お店から始まる「ストア to ストア」の輪

お店で回収された使用済み食品トレー・透明容器および使用済みペットボトルを資源として、エフピコでエコトレー、エコAPET、エコOPETに生まれ変わらせ、再びお店で積極的にご使用いただく「ストアtoストア」の取り組みが全国に拡大中です。

ストア to ストア



エコトレーの
CO₂削減効果
30%

エコトレーのCO₂排出削減量が37%に拡大

関東・中部に加えて関西地区でも太陽光発電が稼働し、トレーリサイクル工場における再生原料製造工程の全てを、再生可能エネルギーで賄うことが可能に

2024年7月1日
出荷分～

37%



マツダスタジアムで 「ボトル to 透明容器」

広島東洋
カープ

×

エフピコ



▲ MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島



▲ 関西工場

2024シーズンから「MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島」で回収された使用済みペットボトルから新たな透明容器に生まれ変わらせる「ボトル to 透明容器」リサイクルを開始しました。約21tの使用済みペットボトルを全量エフピコが回収して透明容器にリサイクルし、広島県内のスーパーマーケットで食品容器として再利用することで循環型の水平リサイクルを実現します。



▲ エコAPET
(ボトル to 透明容器)

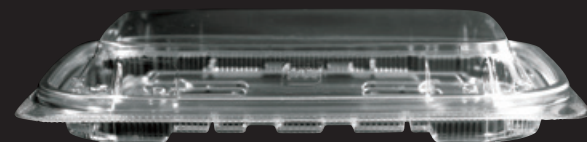
APデリオ

現場の自動化に対応しつつ、プラスチック使用量を削減した
薄くて軽い惣菜容器が完成・上市しました。

エフピコ史上
最も軽量化された
自動蓋閉め機にも対応する
頑丈な惣菜容器



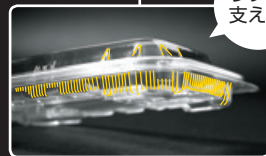
薄いシートでも強度を保つ工夫



薄いシートでも
汁漏れ抑制



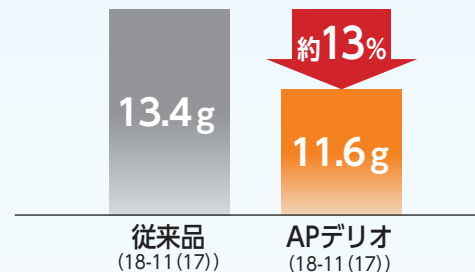
上から押さえても
形が崩れない



様々な方向からの圧力に耐え、
どんな嵌め方にも幅広く対応

プラスチック使用量
平均約13%削減！

※従来品と比較。サイズにより、削減率は異なります。

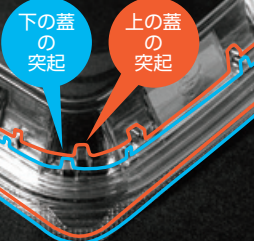


自動蓋閉め機にも
手閉めにも対応する 強度



嵌まり込みを
防止して
作業効率アップ

複数パターンの
突起で、重なる蓋も
取りやすい



兵庫県小野市との「資源循環の
促進に関する連携協定」締結および
関西選別センター竣工

2024年11月14日、当社は脱炭素社会の推進と家庭からのプラスチックごみの排出量削減に寄与することを目的に、兵庫県小野市と連携協定を締結しました。

協定に基づき、工場見学や小学校への出前授業の実施、小野市独自のリサイクルトレーの製造、市役所やスーパーでのトレー回収の実施などにより、プラスチック資源の地産地消の構築を目指します。

同日、全国で11か所目となるリサイクル拠点として「関西選別センター」(兵庫県小野市)が竣工しました。

関西エリアでの発泡トレー・透明容器の回収量増加をはかり、資源循環リサイクルを推進してまいります。



◀ 小野市オリジナルトレー



▲ 関西選別センター

福山市立大学の新たな複合教育施設
「小松安弘記念館」が6月に完成し
9月から供用が開始されました

当社創業者で福山市名誉市民である故小松安弘が「福山市の未来を担う若者が、溢れる大志と目標を抱き社会に巣立っていく学府である福山市立大学のさらなる発展と、地域社会に貢献する人材育成に使ってほしい」との期待を込めて、生前寄附した10億円を基盤とした小松安弘記念館が完成しました。

市民と大学との交流の拠点となるよう、公開講座の開催や幼児と大学生との交流など、本記念館の様々な活用が進められています。



For the Youth
福山市を担う
未来の若者たちへ

株式会社エフピコ 創業者 小松 安弘の想い

小松安弘氏は、食品トレーの可能性に着目し、1962年にエフピコを創業。卓越した経営手腕と先見性で同社を業界トップに育て上げるとともに、サステナブルな社会の実現や障がい者雇用、地域への貢献など、多岐にわたる社会貢献活動に尽力されました。本施設は、福山市名誉市民である故 小松安弘氏からの浄財を基に整備され、福山市の未来を担う若者が、溢れる大志と目標を抱き、巣立っていく学府である福山市立大学の更なる発展と、地域社会に貢献する人材育成への関与が込められています。



小松安弘

■ 会社の概況 (2024年9月30日現在)

社 名 株式会社エフピコ
FP CORPORATION
福 山 本 社 〒721-8607
広島県福山市曙町一丁目13番15号
TEL 084-953-1145 (代表)
東 京 本 社 〒163-6036
東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
新宿オークタワー36F
TEL 03-5320-0717 (代表)
設 立 1962年7月24日
資 本 金 13,150百万円

■ 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 240,000,000株
発行済株式の総数 84,568,424株
株主数 6,385名

■ 大株主の状況 (上位10名) (2024年9月30日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 小 松 安 弘 興 産	28,778	35.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,214	8.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,103	6.31
積 水 化 成 品 工 業 株 式 会 社	2,865	3.54
株 式 会 社 西 日 本 シ テ ィ 銀 行	1,760	2.18
エ フ ピ コ 共 栄 会	1,624	2.01
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	1,385	1.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託積水化成製品工業口)	1,200	1.48
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	1,102	1.36
エ フ ピ コ 社 員 持 株 会	1,071	1.32

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式数 (3,717,694株) を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
定 時 株 主 総 会 毎年6月
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

公 告 の 方 法 電子公告
公告掲載URL <https://www.fpco.jp/>
(ただし、電子公告によることができない
事故、その他やむを得ない事由が生じた
ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店および全国各支店でお支払いいたします。

株主総会資料のウェブ化について

会社法改正により、2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料が原則ウェブ化されました。
議決権行使書は今までどおりお送りいたしますが、書面での株主総会資料の受領を希望される株主様は、基準日である2025年3月31日までに書面交付請求のお手続きをお願いいたします。
お手続き方法については、口座を開設されている証券会社または三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
本制度について詳しくはこちら→<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

